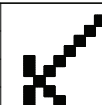


小浜キャンパス 海洋生物資源学部棟 冷温水発生機更新工事

図面番号	図面名称	縮尺
1	特記仕様書(1)	Non Scale
2	特記仕様書(2)	Non Scale
3	全体配置図	Non Scale
4	消防申請・案内図	1/ 500
5	更新全設備図・施工概略画区分番号表	1/ 500
6	①②施工詳細・冷温水関係	1/ 50
7	③油配管関係	1/ 50
8	④煙道関係	1/ 50
9	⑤冷温水(冷却水)配管更新施工概略図	1/ 50
		1/ 50

令和 元年 6 月

公立大学法人 福井県立大学



京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL:(0770)56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録 第11-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋 孝

平成 年 日

工事名称 小浜キャンパス 海洋生物資源学部棟
冷温水発生機更新工事
図面名称 図面リスト

縮尺

図面番号
AC-0

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要 小浜キャンパス 海洋生物資源学部棟 冷温水発生機更新工事

Table with 7 columns: 棟名称, 構造, 階数, 延べ面積 (m²), 消防法施行令別表第一, 建築基準法別表第一の用途, 備考. Row 1: 海洋生物資源学習棟, 7階, 7階.

Ⅱ 3. 工事種目 (●印を付けたものを適用し、各一式とする)

Table with 5 columns: 種別および屋外, 工事種目, 海洋生物資源学習棟, 適用区分, 屋外. Rows include: 空調設備, 換気設備, 排気設備, 自動制御設備, 衛生器具設備, etc.

- 4. 別契約の関連工事
○建築関係工事 ()
○電気関係工事 ()
○空調関係工事 () ○給排水関係工事 () ○その他工事 ()

5. 工期 別に示す公告等による。

Ⅱ 工事仕様

- 1. 共通仕様
(1) 現場説明書、特記仕様書、設計図面に記載がない事項は、国土交通大臣官庁官庁管轄事務部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（以下、「標準仕様書」という。）」、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（以下、「改修標準仕様書」という。）」および「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（以下、「標準図」という。）」による。
2) 工事種目に電気設備工事および建築工事を含む場合、その仕様は当該図面による。
2. 特記仕様
1) 項目および特記事項は、※、●印の付いたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は※印を適用する。

Main specification table with 3 columns: 項目, 特記事項. Rows include: ●施工条件, ●事務処理, ●近接工事の閑接費等, ●施工計画書, ●施工体制の確保, ●公害その他への手続, ●主任技術者等の資格, ●技能士（1級）の適用, ●下請負人の選定.

●工事用資材の選定 工事材料や物品等の調達においては、福井県内に主たる営業所を有する者の中からの調達および県産品の活用を努める。また工事完成時に県産品使用実績報告書を監督職員に提出する。
●工事検査・技術検査 監督職員の指示による。
●公共事業労働費調査 公共事業労働費調査の対象工事となった場合（工期経過後同様）には、調査費の記入等に関する必要事項を行う。

●設置機械等 本工事に使用する設置機械等は、設計図面に規定する所要の品質および性能を有するものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
●機械等の検査・試験 標準仕様書または改修標準仕様書による。
●化学物質を放散させる建築材料等の使用制限 本工事に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質および性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。

●室内空気中の化学物質の濃度測定および確認 ※24時間測定 ○（ ）時間測定 延べ（ ）箇所
(1) 測定対象室および各室測定箇所数 ※図示 ○（ ）
(2) 測定対象物質 ※室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、エチルベンゼン（学校の場合はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、ステレン、エチルベンゼン）

○電気工作物の種類 ※事業用電気工作物 ○一般用電気工作物
○電気保安技術者 標準仕様書または改修標準仕様書に規定する電気保安技術者をおくものとする。
○品質管理 標準仕様書第1編1.3.4または改修標準仕様書第1編1.3.4による。
○施工中の安全確保 施工中の安全確保および環境安全は標準仕様書第1編1.3.5および1.3.9または改修標準仕様書第1編1.3.5および1.3.9による。
○火気の取り扱い 改修標準仕様書第1編1.3.7による。
○施工調査 施工計画調査は、改修標準仕様書第1編1.5.1による。事前調査の内容は次のとおり。

●仮設閉じ切り 屋内に仮設閉じ切りを設ける場合は、改修標準仕様書第1編2.2.3による。
●既存部分等への処理 標準仕様書第1編1.3.10または改修標準仕様書第1編3章による。
●養生 養生の方法 ※改修標準仕様書による（ ） ※行わない

●後片付け 標準仕様書第1編1.3.11または改修標準仕様書第1編1.3.11による。
●撤去 撤去を行う場合は、改修標準仕様書第1編4章によるほか、次による。
●再使用機械 取外し後使用する機械は、改修標準仕様書第1編1.4.3による。なお、ファンコイルユニット等の見えがかり部分は、洗剤を使用するなど十分に清掃を行う。
●発生材の処理等 (1) 標準仕様書第1編1.3.9または改修標準仕様書第1編5章による。引き渡しを要するもの ※なし ○あり（機器類、金属類等）

Table with 3 columns: 材料名, 定性分析 (試験数:), 定量分析 (試験数:)

●建設発生土の処分 ※構外搬出適切処理（※運搬・処分費を含む） ○処分地：
○構内指示の場所に敷きならし ○構内指示の場所にたいじ ○現場説明書による
●環境への配慮 (1) 「排出ガス対策型建設機械指定要領」および「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」（国土交通省）による排出ガス対策型および低騒音型建設機械を使用する。
(2) 発生材の処理等 ○再資源化を図るもの ○アスファルト・コンクリート塊 ○コンクリート塊 ○建設発生材 ○建設汚泥

●グリーン購入調達 記録表の提出 資料、工法、建設機械において、工事の特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「福井県庁グリーン購入推進方針（平成13年4月27日策定）」に基づき環境資料等の使用を積極的に推進するものとし、その調達実績を記録した「公共工事に係るグリーン購入調達記録表」を監督職員に提出する。

●電子納品 (1) 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品は、「電子納品の手引き（案）福井県版」（以下「案等」という。）に基づいて行う。
(2) 成果品は「案等」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体（CD-R）で2部、各土木事務所の出先機関にあっては3部提出する。
(3) 電子成果品の提出の際には電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルスチェックを実施したうえで提出する。
(4) 完成検査までに（公財）福井県建設技術公社に電子納品保管管理システムの登録料を支払い、完成検査終了後、正を監督職員に、副を（公財）福井県建設技術公社に提出する。

Table with 3 columns: フォルダ名称, 資料大分類, ファイル形式. Rows include: PLAN, SCHEDULE, MEET, MATERIAL, PROCESS, INSPECT, SALVAGE, DRAWING, MAINT, OTHERS.

注1：元請・下請関係図書、現場指示書は契約関係資料に入れる。それ以外については手引きによる。
注2：フォルダ形式は上表による。これにれない場合は監督職員と協議する。
注3：完成写真は電子画像の他、「○四つ切 ○キャベネ版」のプリントを（ ）部提出する。
注4：フォルダ構成など、「建築工事写真撮影要領平成24年度版」（国土交通大臣官庁官庁管轄事務部）によるほか、

Table with 6 columns: 区分, 種類, 原図, 縮小原図 (A3), マイクロフィルム, 製本, 備考. Row 1: ●設計図書, 1部, 1部, 1部, 1部, 1部.

○一年点検 受注者は工事完成引継日より1年を経過するまでに、「県有施設一年点検実施要領」（福井県土木建築住宅課整備課）に基づき一年点検を実施し、報告書を提出する。施工上の瑕疵による不良箇所があれば改修する。
●設計図書 (A1) の青焼きを（ 1 ）部製本し提出する。
●縮小原図 (A3) の青焼きを（ 1 ）部製本し提出する。

●耐震措置 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人 建築研究所監修）により、基礎、架台、アンカーボルトについて耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基礎施工要領は標準図（施工25～29）【機械設備工事編】による。

Table with 5 columns: 設置場所, 重要機器・水槽, 一般機器・水槽, 重要機器・水槽, 一般機器・水槽. Rows include: 上層階, 屋上および塔屋, 中間階, 1階, および地下階.

注1 () 内の数値は防振支持の機器の場合、(<) の数値は水槽類に適用する。
2 重要機器（水槽類）は、下記による。（水槽類にはオイルタンク等を含む。）
●給水装置 ○排水装置 ○換気機器 ○空調機器
○熱源機器 ○防災設備 ○監視制御装置 ○危険物貯蔵装置

3 適用箇の定義・区分は、建築設備耐震設計・施工指針 指針表 2.2-1による。
(2) 設計用鉛直震度 設計用鉛直震度は設計用水平震度の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
(3) 吊り質量機器の耐震支持（100kg以下の設備機器）
① 耐震クロスS（指針表2.2-1を参照）で計画する場合は吊り部材には、形鋼を用いる。
② 吊りボルトで耐震支持する場合は、自重支持用吊りボルト本で構成される面にそれぞれ2本の斜材でV形とし、合計8本の斜材が必要。この時、自重支持吊りボルトに斜材を取り付ける角度は45度±15度とし、自重支持吊りボルトに接続する位置は上部のインサートと下部の機器支持部との合計長さを25cm以内とする。斜材は、自重支持用吊りボルトと同等以上の強度の金属材料（鉄筋、金全ジボルトなど）を用いる。また、自重支持ボルトと斜材とを接続する部材は締め付け具を用い、クリップなどは使用しない。

●機器の据え付け及び配管・ダクトの吊りおよび支持 (1) 配管の吊りおよび支持などは、標準仕様書第2編第2章第6節または改修標準仕様書第2編第2章第4節の当該事項によるほか、配管の曲り部およびバルブ類取付箇所には、50cm以内に支持金物をつける。
(2) ダクト類の吊りおよび支持などは、標準仕様書第3編第2章第2節または改修標準仕様書第3編第2章第2節による。

●不同床対策 建物導入部の変位取扱方法は、標準図（施工4.5 建物導入部の変位取扱配管要領）による。○フレキシブルジョイント ○ボールジョイント ※スリークッション
●インサート およびアンカー 新規に作成する基礎・構造物に設備を設置する場合には、あと施工アンカーは使用してはならない。やむを得ず使用する場合は、改修標準仕様書第2編第5章の該当事項による。めねじ形アンカーは使用してはならない。
配管、機器等の天井下吊下げアンカーには接着系アンカーを使用してはならない。性能確認試験は監督職員の指示による。
試験方法 ※（社）日本建築あと施工アンカー協会のみあと施工アンカー基準試験法による
施工後確認試験 ※国土交通大臣官庁官庁管轄の公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成25年版）8章11節による。

●アンカーボルトのナット用合形成鋼製キャップ 屋外設置機器のアンカーボルトのナット部分には、合形成鋼製キャップをかぶせる。

●配管材料等 配管材料は標準仕様書第2編2.1および改修標準仕様書第2編2.1.1によるほか、表-1「配管材料区分」による。

●一般用弁 水道管類および図面特記部の耐圧は JIS または JW10K、その他は JIS または JW5K とする。配管類との接続により、電気腐食を起こり恐れのない材質のものを使用する。

○伸縮管継手 銅管用伸縮管継手は下記による。 ※ローフォーム ○スリーブ形

○既設配管の再生を行う場合の留意事項 既設配管の再生を行う場合は、改修標準仕様書第2編2.2.13による。

●管の接合 標準仕様書第2編2.5および改修標準仕様書第2編2.3の該当事項による。
○溶接部の検査 配管の溶接接合は標準仕様書第2編2.5.16または改修標準仕様書第2編2.3.16による。また配管以外も含めて、溶接部の非破壊検査は下記による。 ※適用しない。

○既設配管接続部の試験 既設配管を含む部分の試験 ※要（監督職員の指示による）

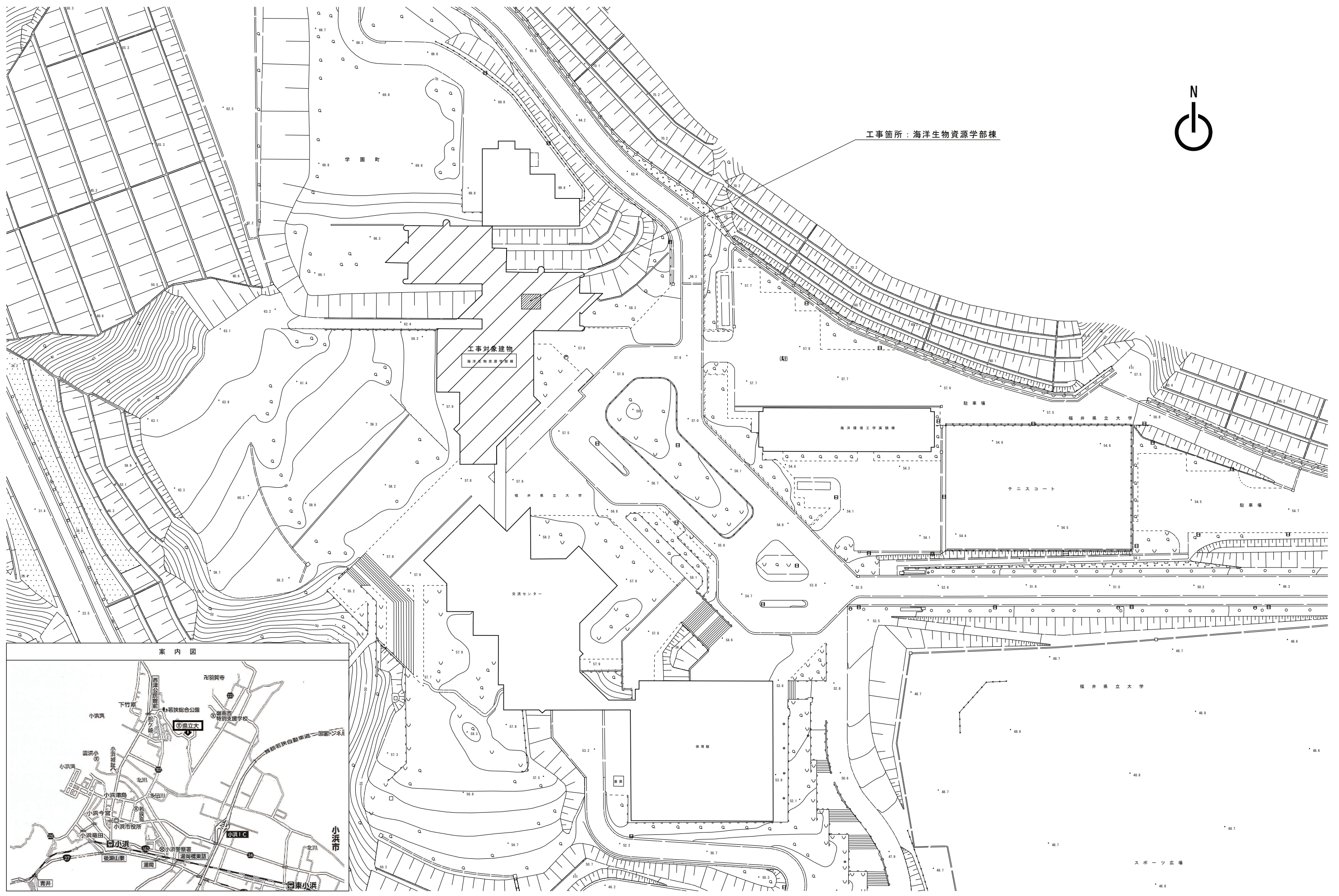
●スリーブ 柱および梁以外の箇所、開口補強が不要、かつ、スリーブ径が200φ以下の部分に使用する場合は、紙製フレックを使用してもよい。その場合は、変形防止の措置を講じ、かつ配管施工前に仮枠を必ず取り除く。

●はつりおよび穴閉け はつりおよび穴閉けを行う場合は、改修標準仕様書第2編第4章の該当事項によるものとし、既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴閉けは、原則としてダイヤモンドカッターを使用し、モルタルまたはロックウールを充填して補修する。

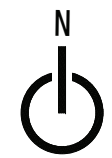
京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL：(0770)56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録 第1-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎洋孝

Table with 6 columns: 令和元年, 月, 日, 工事名称, 縮尺, 図面番号. Row 1: 小浜キャンパス 海洋生物資源学部棟 冷温水発生機更新工事, AC-1

図面名称 機械設備特記仕様書 (1)

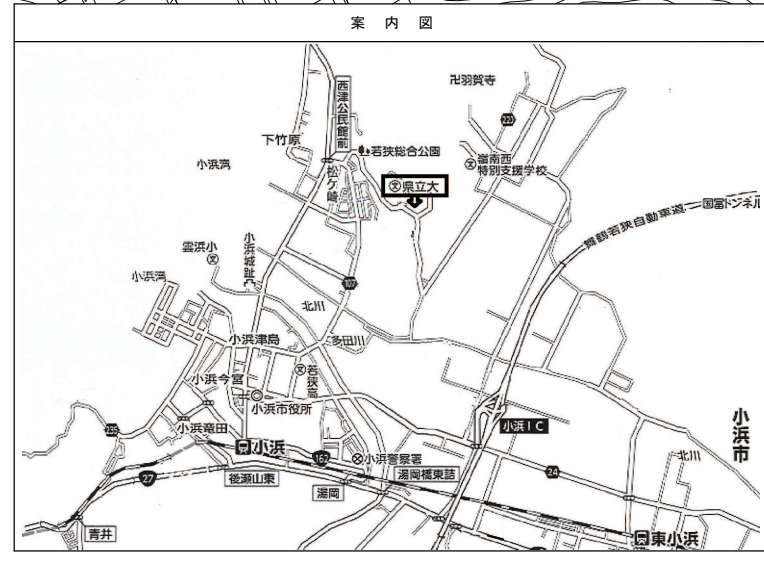


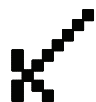
工事箇所：海洋生物資源学部棟

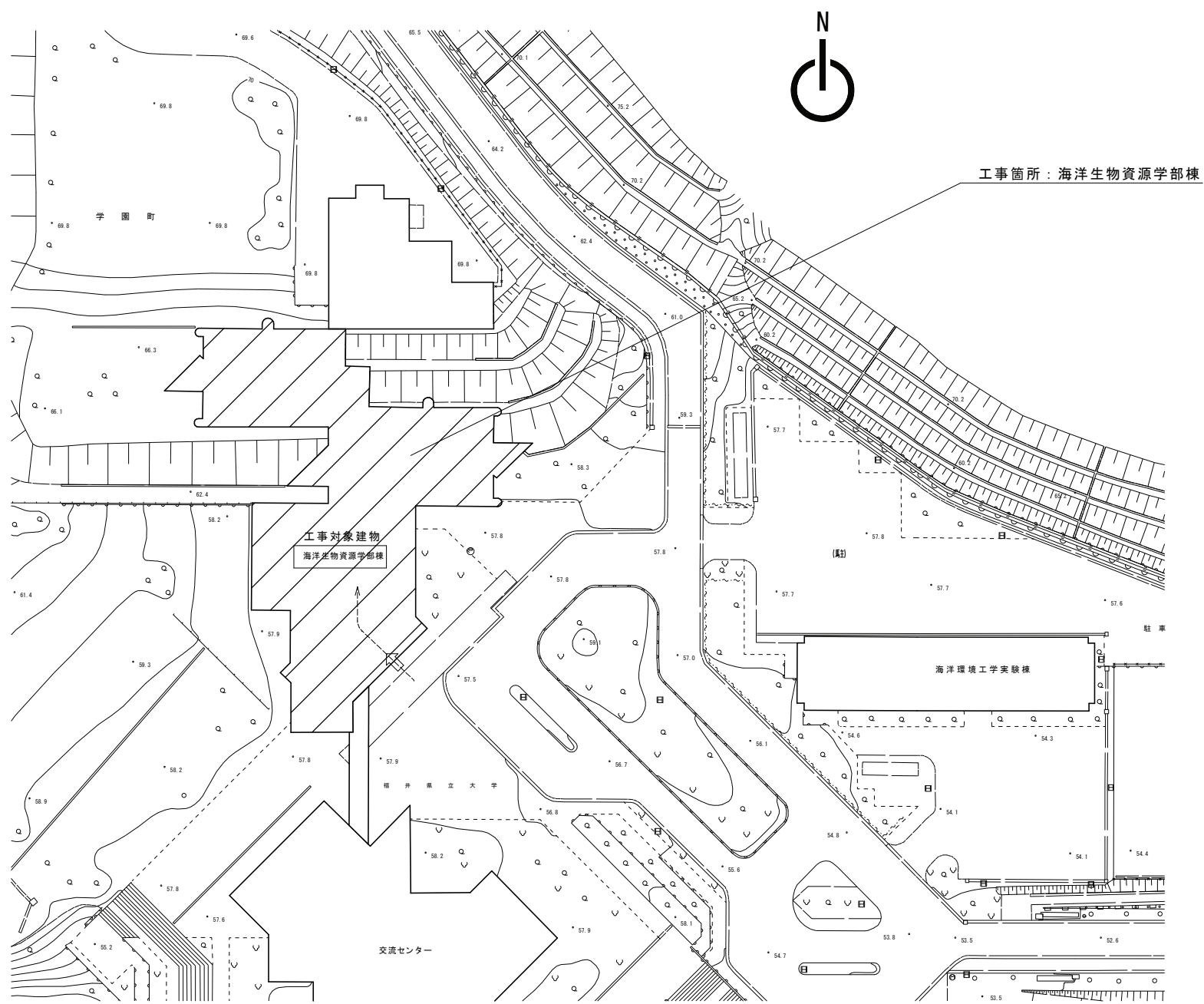


工事対象建物
海洋生物資源学部棟

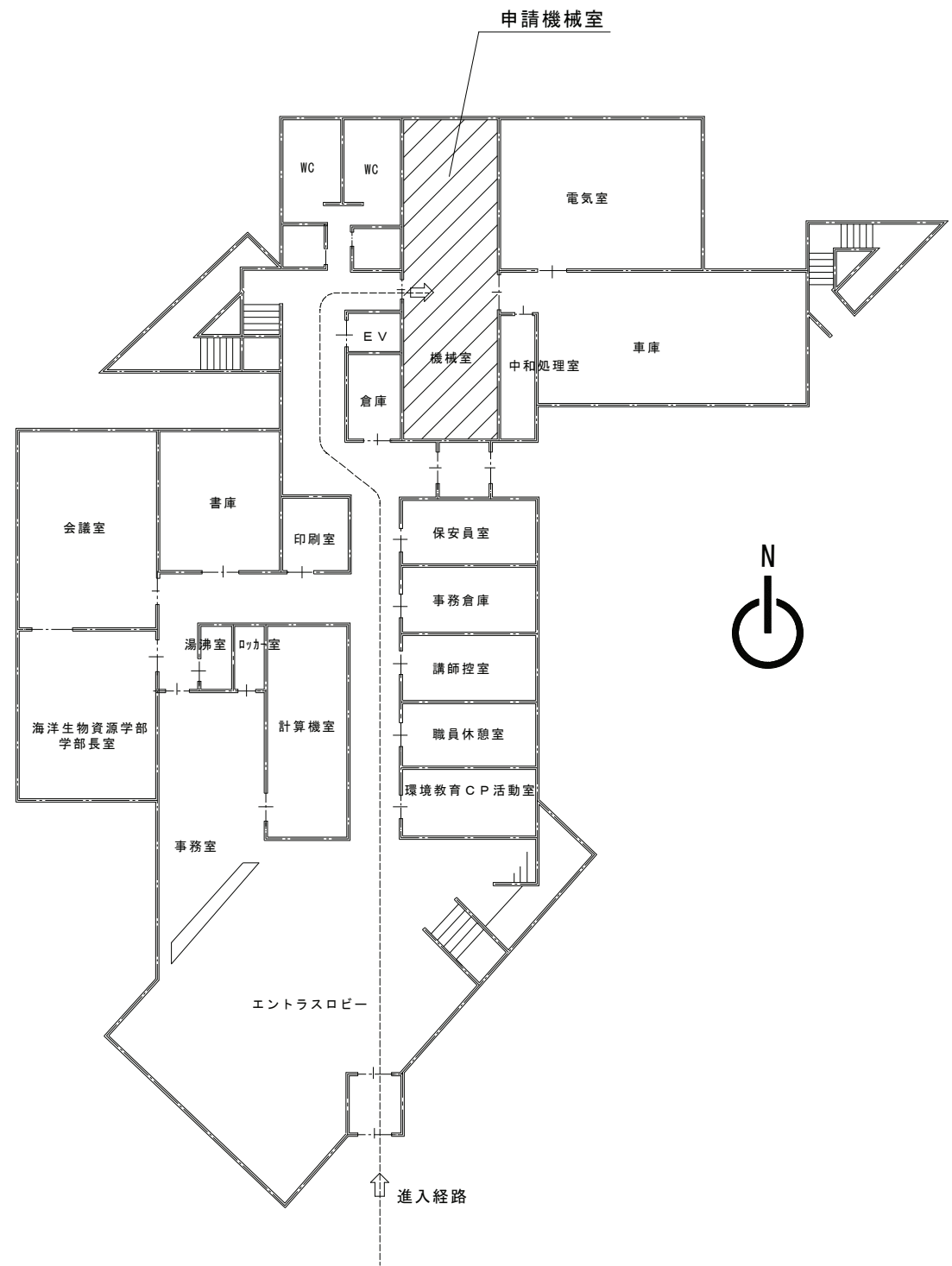
案内図



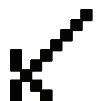
 京福コンサルタント株式会社 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345 一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝	平成	年	日	工事名称	小浜キャンパス 海洋生物資源学部棟 冷温水発生機更新工事	縮尺	図面番号
				図面名称	全体 配置図	1/500	AC-3

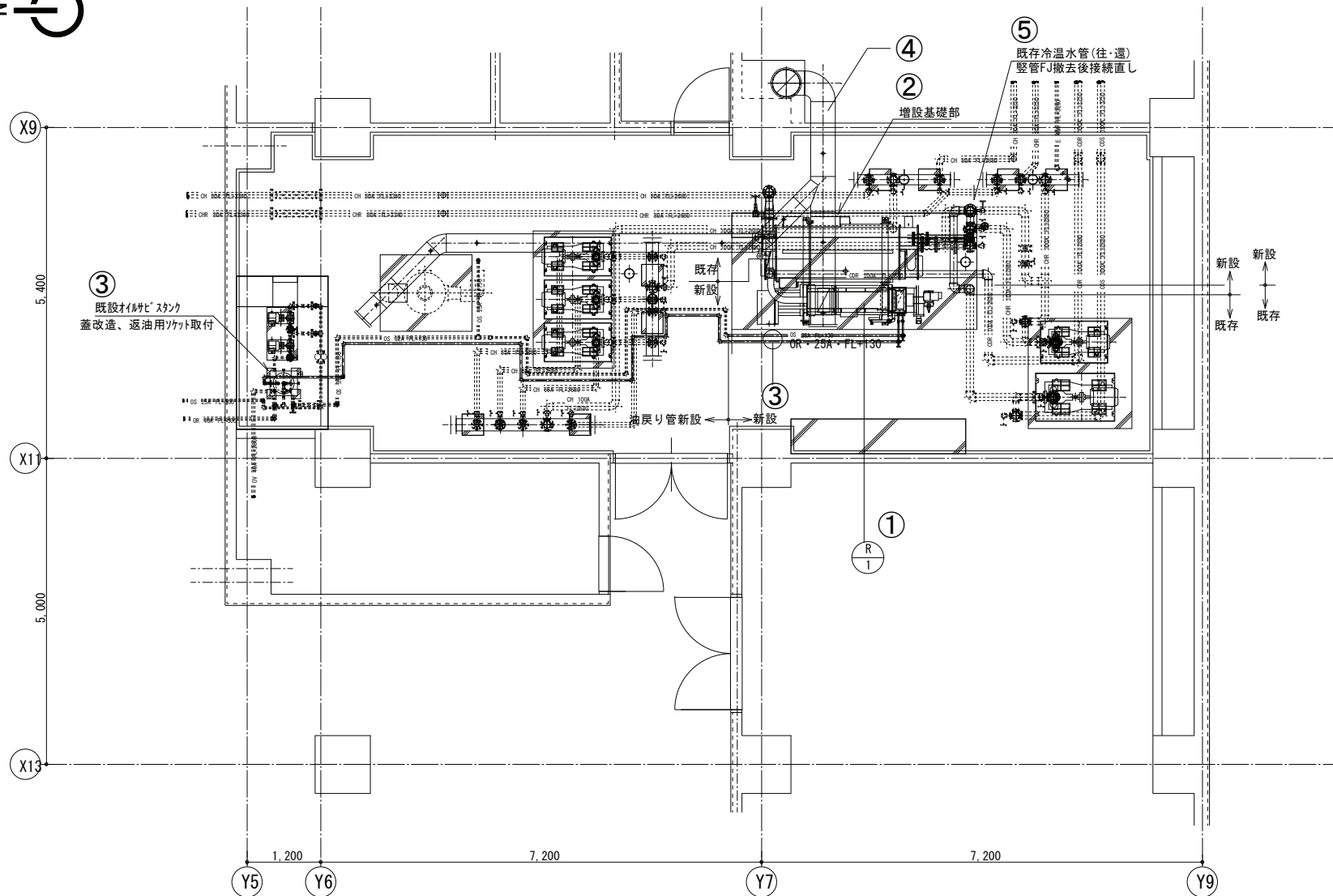
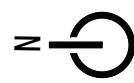


構内配置 案内図 1:500



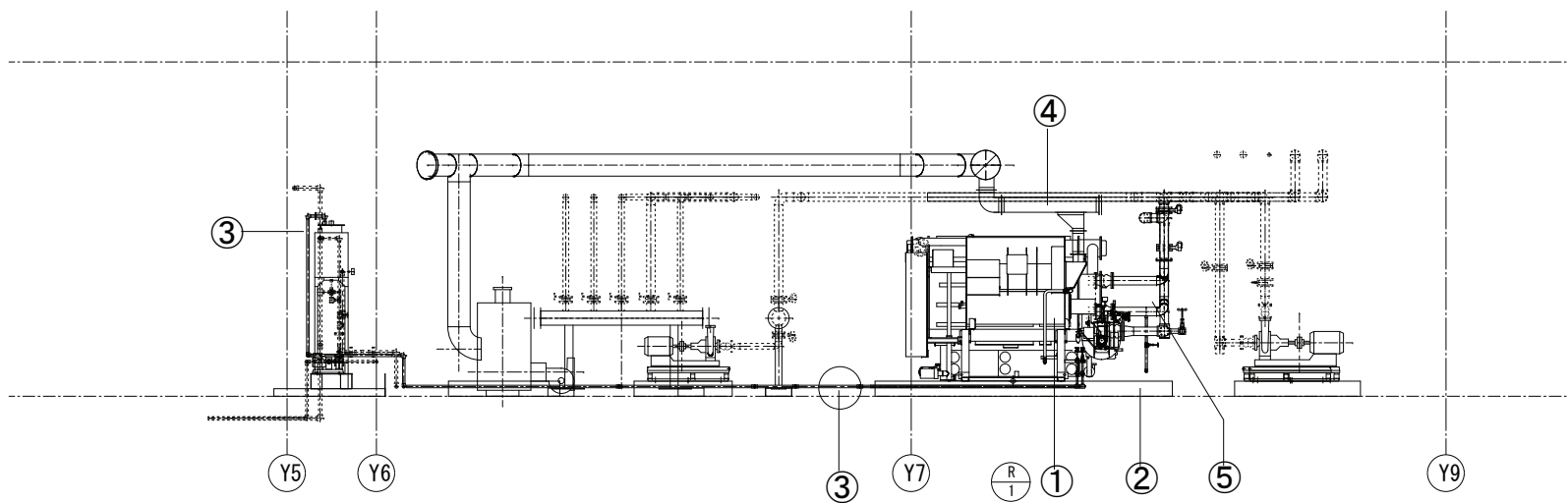
館内配置 案内図 1/200

 <p>京福コンサルタント株式会社 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770)56-2345 一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝</p>	平成	年	日	工事名称	小浜キャンパス 海洋生物資源学部棟 冷水発生機更新工事	縮尺	図面番号
				図面名称	消防申請 案内図	1/500	AC-4
						1/200	

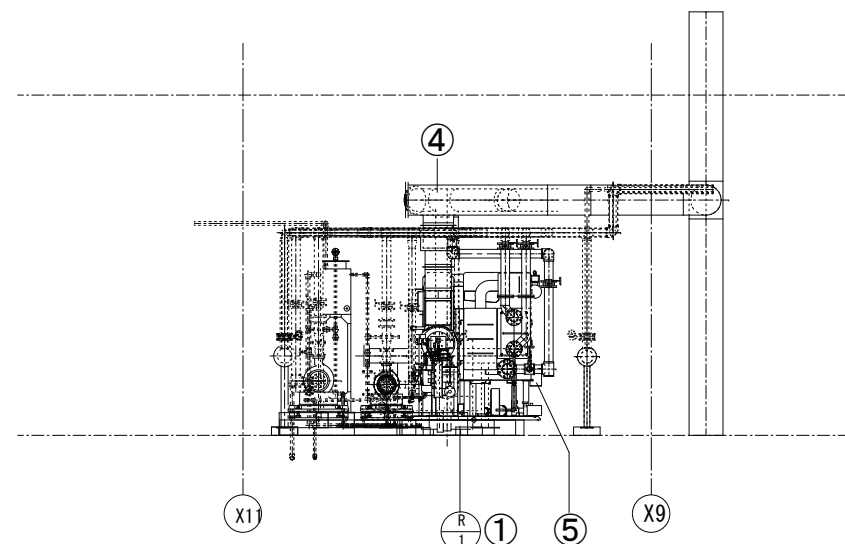


1階 機械室 平面図 1/50

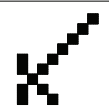
記号	施工概略事項
①	冷温水機更新 (既存撤去・更新機分割搬入)
②	増設基礎 (更新機に合わせて基礎打ち増し)
③	油配管改修・戻り油配管新設 油サービスタンクに戻り管用配管加工 (タンク点検口加工)
④	既存煙道・更新機煙道に合せ加工接続 既存吊金具直吊から防振吊金具に取り替え
⑤	冷温水配管接続変え (バルブ等新設)
付帯事項	冷温水機・分割搬入 冷温水機・防振パット敷 冷温水機・既存電源配線・計装操作信号線等 接続替え 既存煙突吊変え (防振吊金具取付)



側面断面図 (No. 1) 1/50



正面断面図 1/50


京福コンサルタント株式会社
 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770)56-2345
 一級建築士事務所 福井県知事登録 第1-871号
 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和元年	月	日	工事名称	小浜キャンパス 海洋生物資源学部棟 冷温水発生機更新工事
			図面名称	更新施工概略全図面

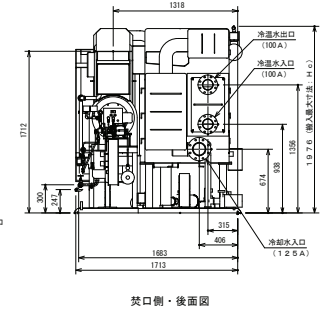
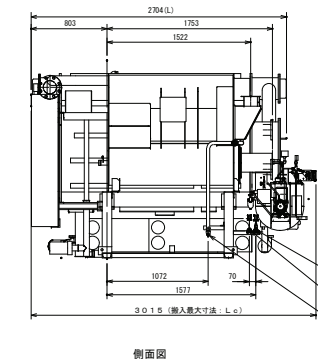
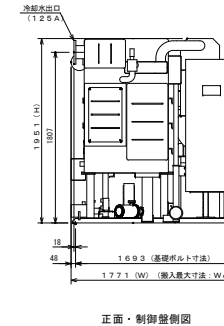
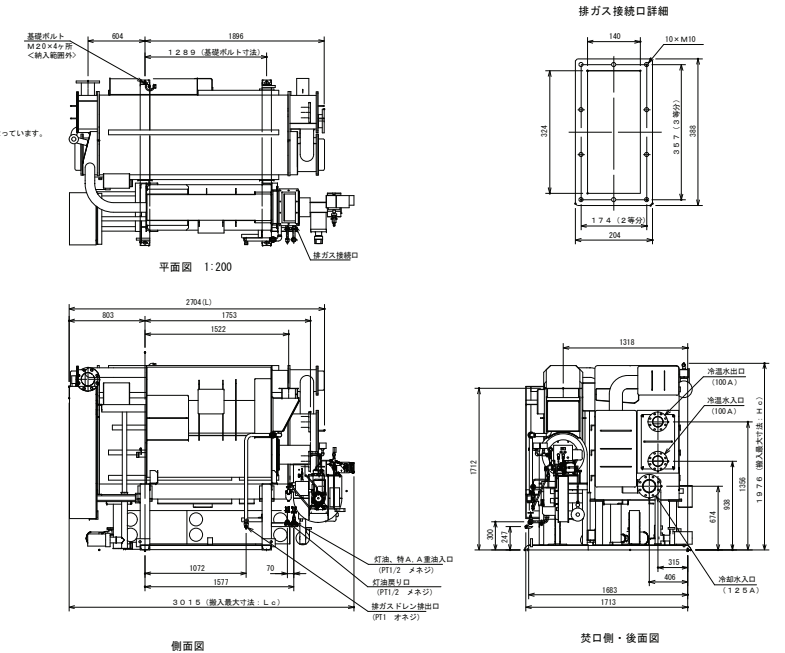
縮尺	図面番号
A1:1/50 A3:1/142	AC-5

更新機器一覧表

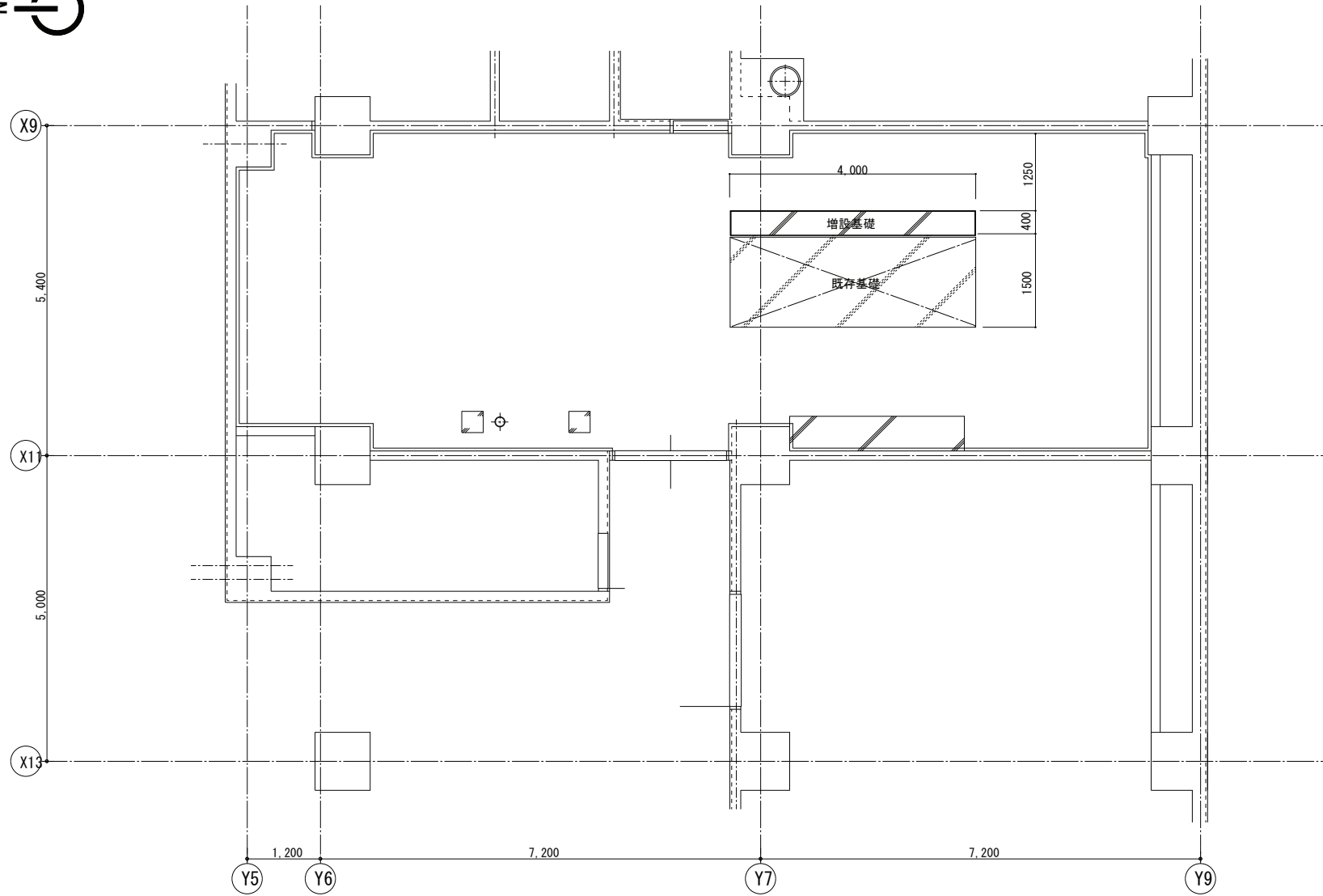
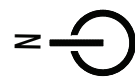
記号	機器名称	機器仕様・付属品	電気容量			参考品番	合計数量
			φ	V	KW/W(定格)		
R 1 ①	吸収式冷温水発生機	80RT 冷房能力: 264KW (75USRT) 暖房能力: 241KW 冷温水量: 756L/h 出入口温度: (冷水12°C→7°C) (温水55.4°C→60°C) 冷却水量: 1,250L/h 出口温度: (32°C→37.2°C) 燃料消費量: (特A重油) 24.8L/h 付帯設備: 5分割搬入仕様・防振パット・他必要部品一式共	3	200	2.55	NET-80EN6A (加圧タイプ)	1

技術資料名称 エフィシオ
油吸収冷温水機外形図(加圧タイプ)
NE型 80RT※耐震1.5G共通

- 注 記
1. 冷温水・冷却水の接続は、JIS10Kのフランジ継手です。
 2. 冷温水・冷却水の最高使用圧力は、7.84kgf/cm²です。
 3. 冷温水機の周囲に十分な空間を確保して下さい。
 4. 冷温水機の品質保証書に取付取組書が添付されています。
 5. 詳細は、「基礎・取組取組書」を参照して下さい。

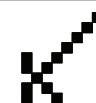


更新用・冷温水発生機 参考図 1:50 (A1)



② 増設基礎 (更新機に合わせて基礎打ち増し)

1階 機械室 平面図 1/50

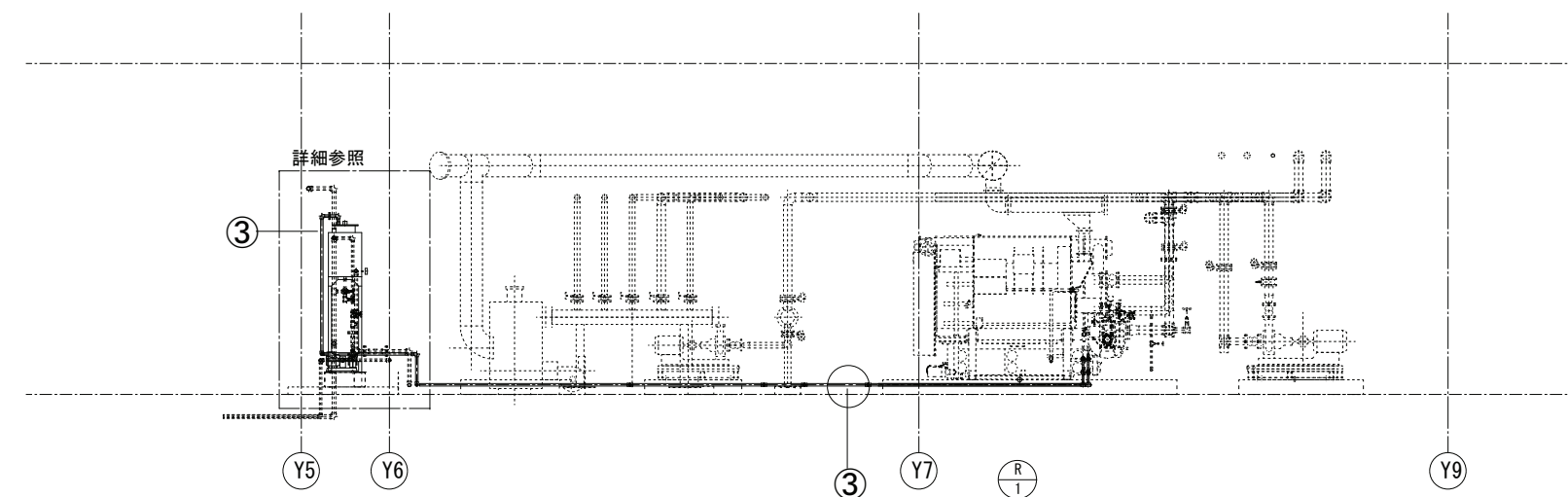
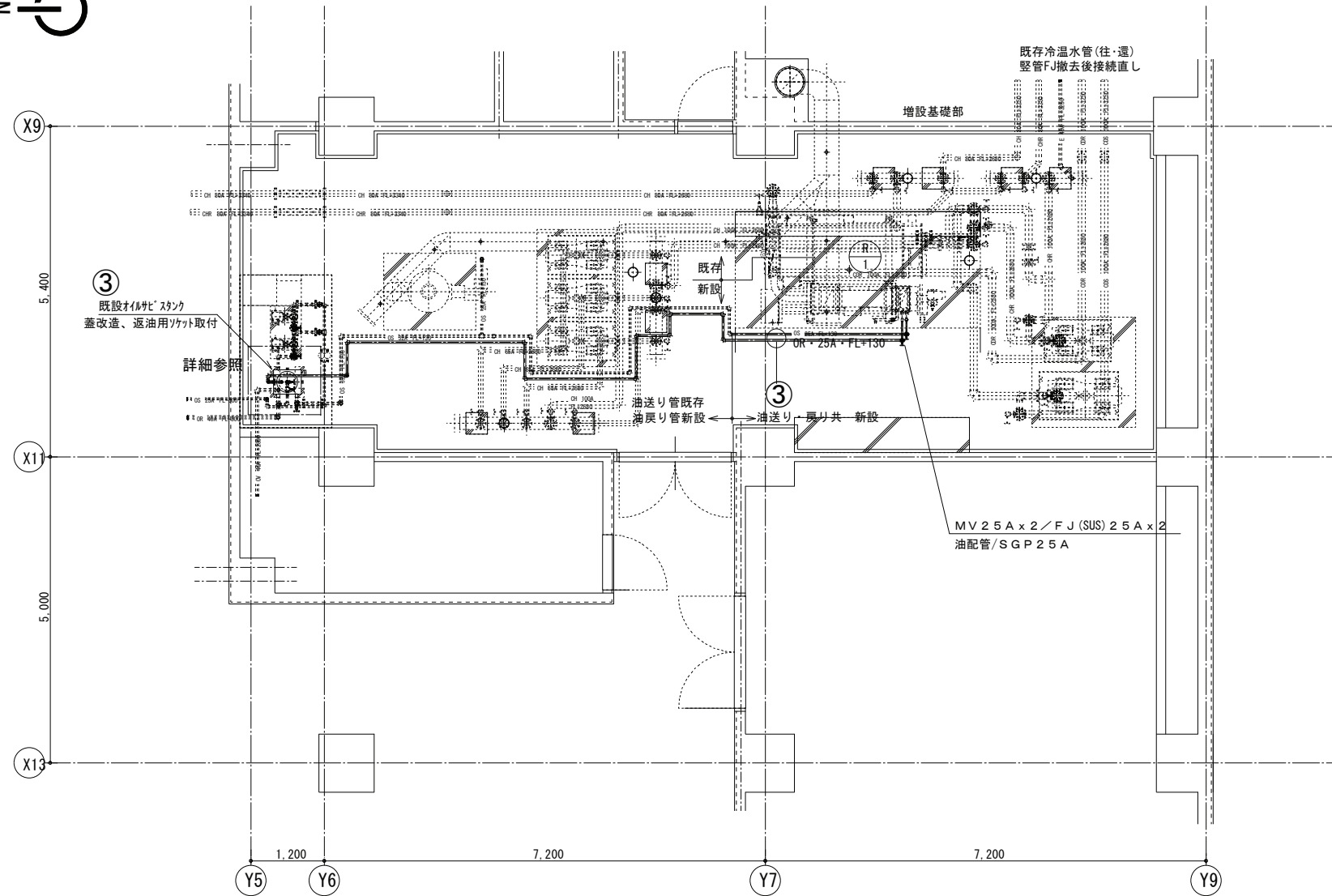
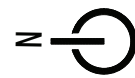


京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録 第1-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎洋孝

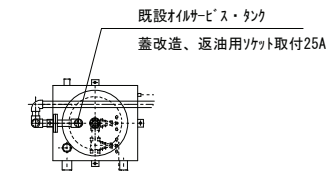
令和元年 月 日

工事名称 小浜キャンパス 海洋生物資源学部棟
冷温水発生機更新工事
図面名称 施工詳細①②冷温水機関係

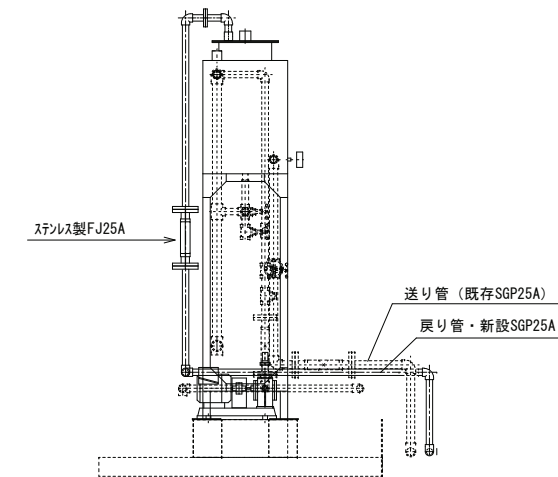
縮尺 A1:1/50
A3:1/142
図面番号 AC-6



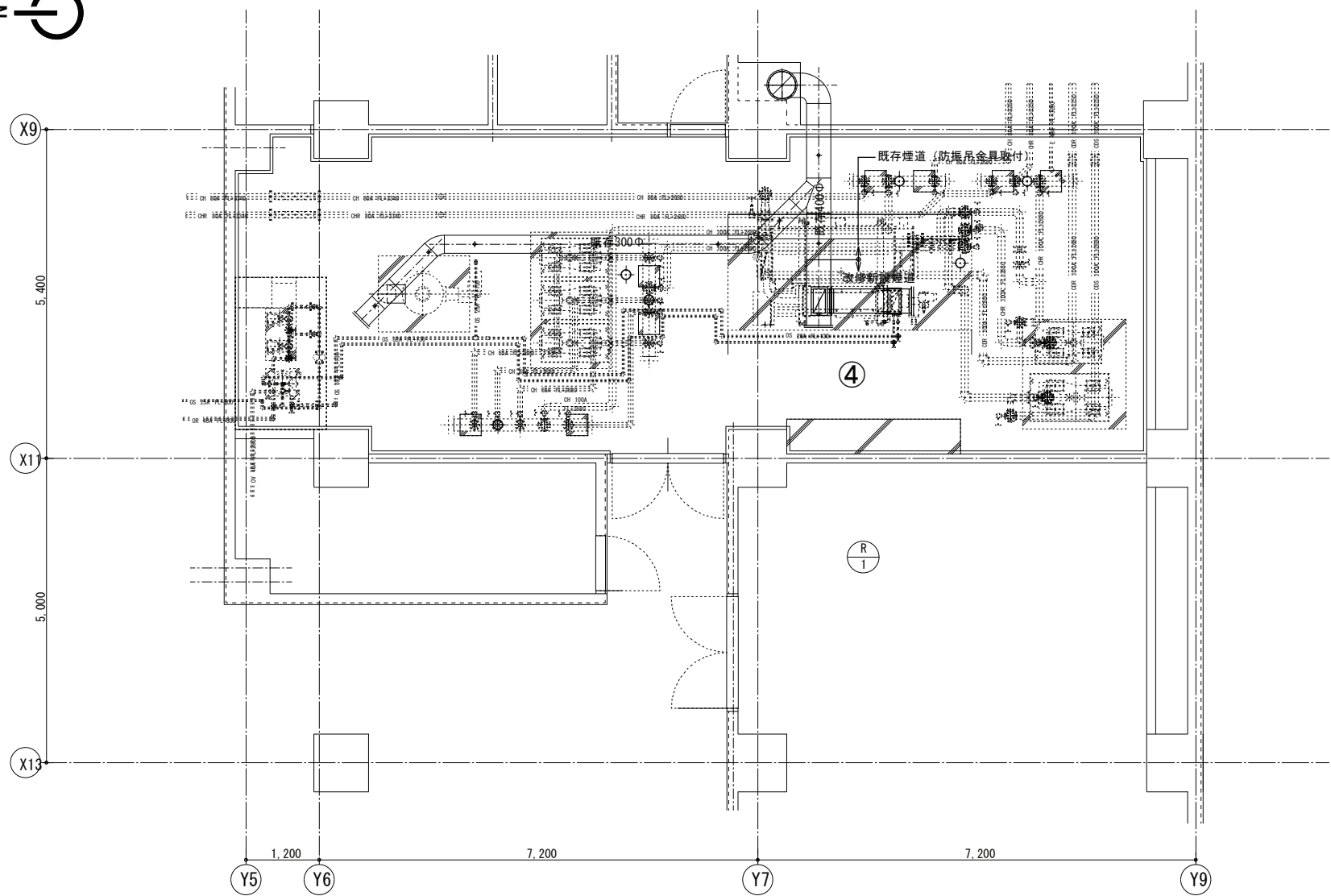
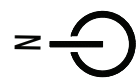
記号	施工概略事項
③	油配管改修・戻り油配管新設 油サービスタンクに戻り管用配管加工 (タンク点検口加工)



平面詳細・参考図 1:20 (A1)

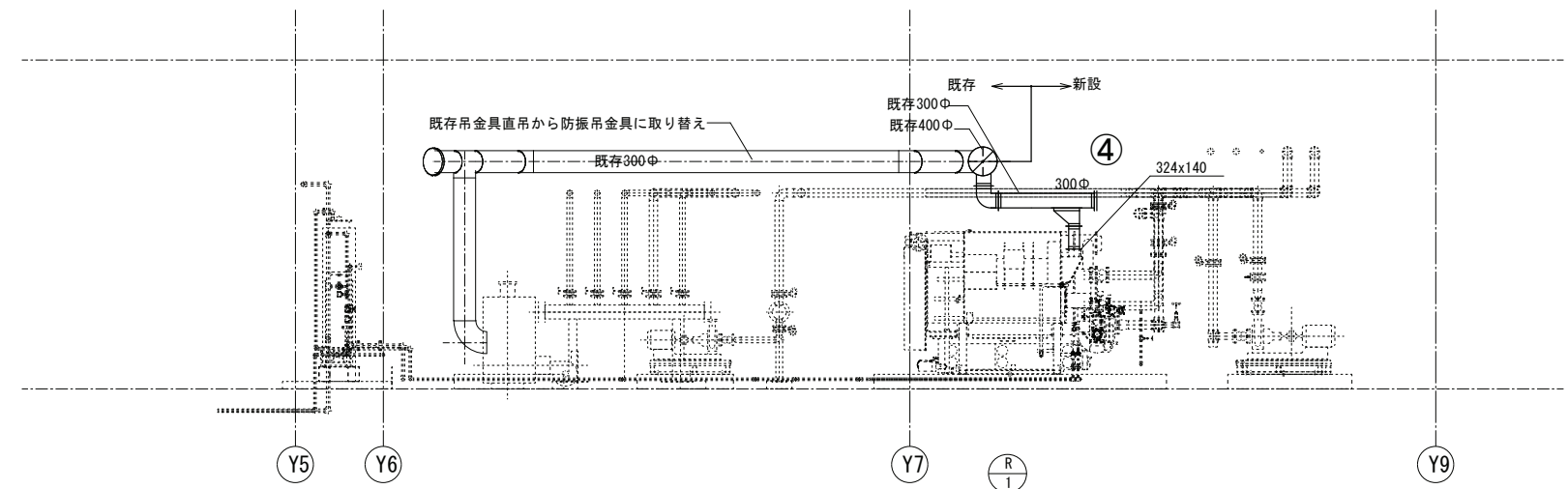
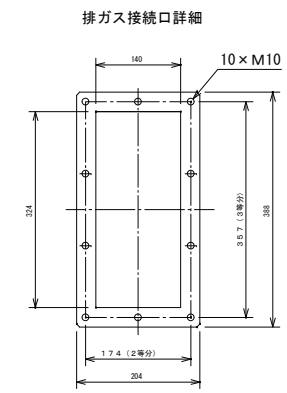


立面詳細・参考図 1:20 (A1)

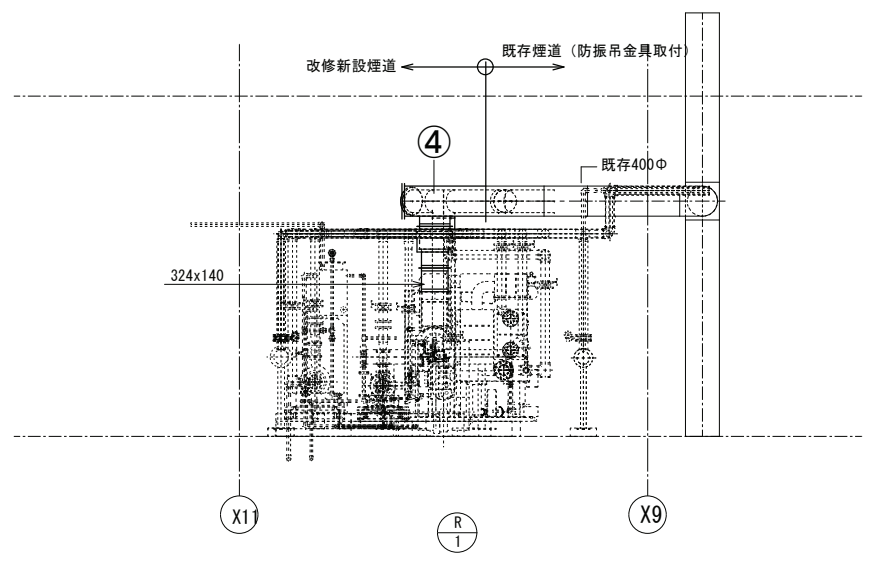


1階 機械室 平面図 1/50

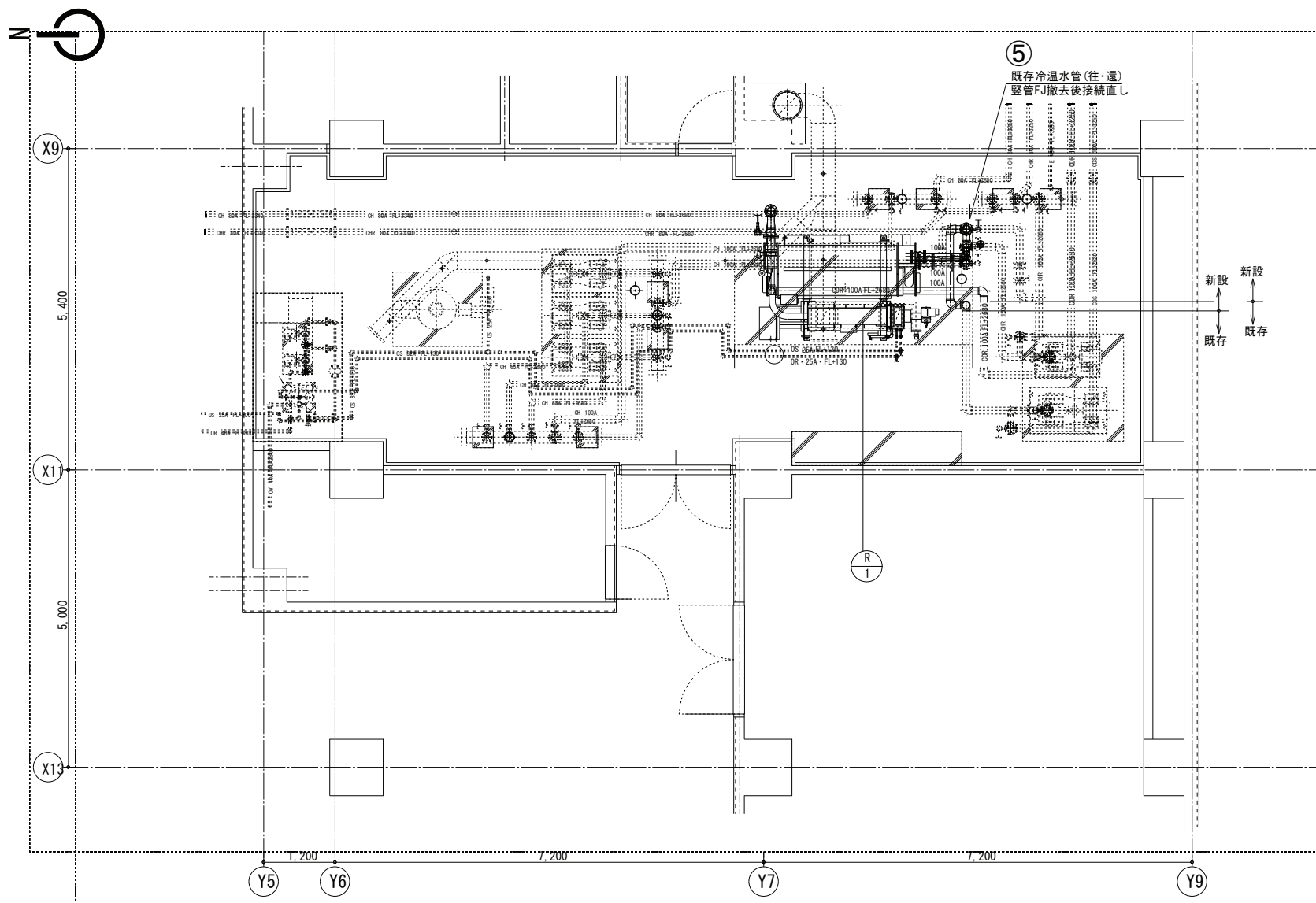
記号	施工概略事項
④	既存煙道・更新機煙道に合せ加工接続 既存吊金具直吊から防振吊金具に取り替え



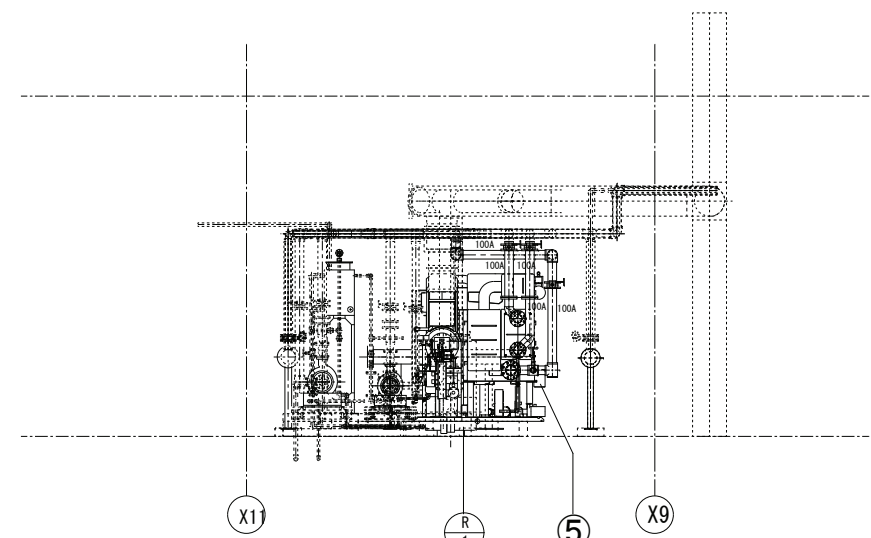
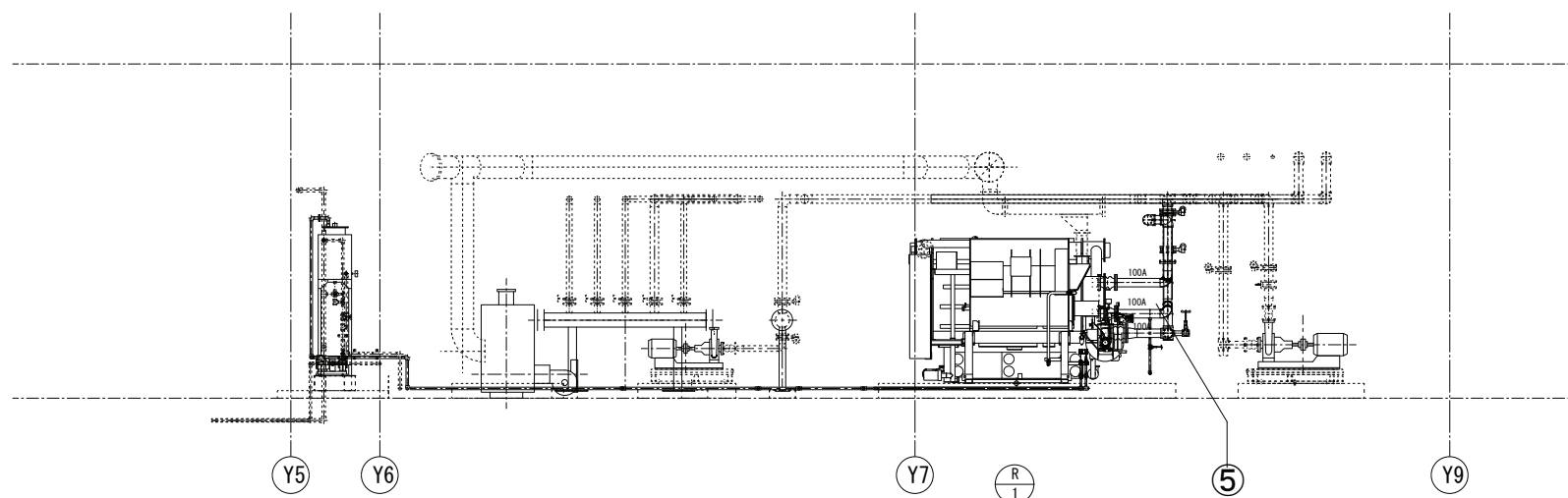
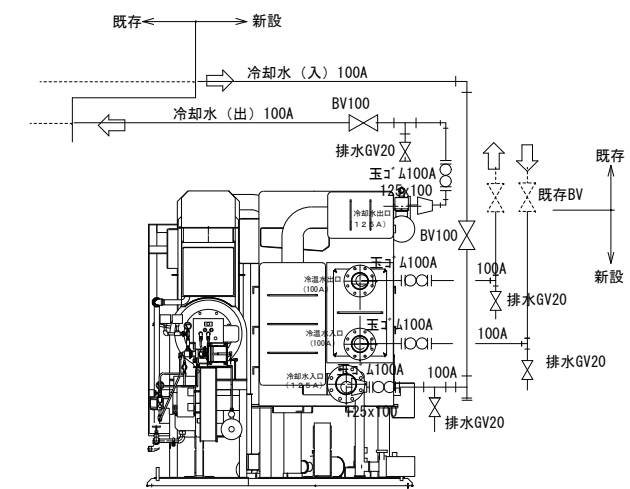
側面断面図 (No. 1) 1/50

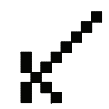


正面断面図 1/50



記号	施工概略事項
⑤	冷温水配管接続変え (バルブ等新設)




京福コンサルタント株式会社
 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345
 一級建築士事務所 福井県知事登録 第1-871号
 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋 孝

令和元年	月	日	工事名称	小浜キャンパス 海洋生物資源学部棟 冷温水発生機更新工事	縮尺	図面番号
			図面名称	⑤冷温水 (冷却水) 配管更新施工概略図	A1:1/50 A3:1/142	AC-9